

- アラン・ブラッドリー / 古賀弥生訳 『春にはすべての謎が解ける』 【4月刊行】
シリーズ衝撃の展開！ 『パイは小さな秘密を運ぶ』のフレーヴィア・ドルース・シリーズ第五弾。
- ルーサー・プリセット / さとうななこ訳 『Q』上下 【4月刊行】
カトリックへの脅威を排除すべく、放たれた密偵“Q”の正体は？ 歴史エンターテインメント超大作。
- パトリック・クエンティン / 白須清美訳 『女郎蜘蛛【新訳版】』 【5月刊行】
演劇プロデューサーのピーター・ダルース最大の危機。長らく入手困難だった幻の名作(本当に名作です)。
- ポール・アダム / 青木悦子訳 『ヴァイオリン職人の探求と推理』 【5月刊行】
ヴァイオリンの名職人が音楽仲間殺しの謎を追う。職人&刑事のコンビが活躍する新シリーズ開幕！
- レーナ・レヘトライン / 古市真由美訳 『要塞島の死』 【5月刊行】
産休明け、警部に昇進したマリアが、かつて恋人が不審死を遂げた島で起きた、島の所有者一族をめぐる事件の調査に奔走する。フィンランド人気ナンバーワン作家シリーズ第3弾。
- デボラ・クーンツ / 中川聖訳 『私の職場はラスベガス2』(仮) 【6月刊行】
今回のもめごとはオッズ屋殺しにミツパチの大群？ ラスベガスで働く体当たりヒロインの活躍、第2弾。
- M・ヨート&H・ローセンフェルト / ヘレンハルメ美穂訳 『犯罪心理捜査官セバスチャン』【6月刊行】
少年の心臓を切り出すという猟奇事件が発生。訳あって国家犯罪局の精鋭チームに加わったのは、セックス依存症で超性格の悪い、しかしスウェーデン一優秀なプロファイラー、セバスチャンだった……。
- アリス・ラプラント / 玉木亨訳 『忘却の声』上下 【6月刊行】
彼女を殺したのはわたし？ 認知症を患う「信用できない語り手」の女性の一人称で書かれた、衝撃作！
- ヘニング・マンケル / 柳沢由実子訳 『北京から来た男』 【7月刊行】
スウェーデンの寒村で起きた、19人虐殺事件。犠牲者に親戚がいると知った女性裁判官ビルギッタは、事件を調べはじめる。彼女の調査はやがて、世界経済の中心になりつつある国、中国へと向かうが……。
- アンネ・ホルト / 枇谷玲子訳 『真実の向こう側』 【8月刊行】
ノルウェーの首都オスロ市警の腕利き女性犯罪捜査官ハンネが海運会社社長一家の殺害事件に挑む。
- マーガレット・ミラー / 宮脇裕子訳 『悪意の渦』(仮) 【今秋刊行】
自殺をほのめかし消えた女性のあとを追う女医が巻き込まれる異様な事件。緊迫感に満ちた本邦初訳作。
- マージェリー・アリンガム / 猪俣美江子訳 『チャンピオン氏の事件簿』(仮) 【今秋刊行】
英国四大女流ミステリ作家のひとり、アリンガムの創造した名探偵アルバート・チャンピオン氏の登場する全短編の中から傑作秀作を選びすぐった日本オリジナル短編集。英国ミステリの粋をお楽しみください。
- ジョエル・ディケール / 橘明美訳 『ハリー・クパート事件』上下
若きスイス人作家がフランスで発表した、ミステリデビュー作。仏で100万部超、全欧州で200万部超の大ベストセラーとなり、イタリア、スペインではダン・ブラウンを抑えて、売上首位となった超話題作。
- ダニエル・フリードマン / 野口百合子訳 『もう年は取れない』(仮)
最高に格好いい87歳の伝説の名刑事が、人生最後になるかもしれない捜査に臨む。鮮烈なデビュー作。
- フェルディナント・フォン・シーラッハ / 酒寄進一訳 『禁忌』(仮)
大どんでん返しが炸裂する、『コリーニ事件』を超える衝撃作！ 絶対見逃せない著者最新長編です。

S・J・ローザン / 直良和美訳 『ゴースト・ヒーロー』(仮)

天安門事件で死んだ画家の「新作」がニューヨーク市場に現れた？ リディアとビル、そして美術品専門の同業者ジャック・リー。三人の探偵が現代アート業界の裏側に挑む、傑作私立探偵小説シリーズ最新作。

ラフィク・シャミ / 酒寄進一訳 **Die dunkle Seite der Liebe**

血で血を洗う争いを続けるふたつの一族に生まれた男女の恋物語と、秘密警察官の殺人事件。二つの出来事が 304 個のエピソードを通してつながり、百年にわたるシリアの精神、風土を描き出す。構想 30 年の大傑作！

ヘレン・マクロイ / 駒月雅子訳 **The One That Got Away**

ドイツ兵捜索のため、スコットランドにやってきたアメリカ人将校が遭遇する人間消失と密室殺人の謎。

フォルカー・クッチャー / 酒寄進一訳 『ゴールドスティン』

アメリカから来た殺し屋とはみ出し刑事ラートの息づまる対決！ 『濡れた魚』のラートシリーズ最新刊。

ケイト・アトキンソン / 青木純子訳 『ジャクソン・プロディの事件ファイル』

『世界が終わるわけではなく』の著者による私立探偵ものミステリ。BBC ドラマ版は CWA テレビ賞受賞。

マイケラ・マッコール / 小林浩子訳 **Nobody's Secret**

謎解きの終わり、それは、初恋の終わり。詩人エミリー・ディキンソンが探偵となる瑞々しいミステリ。

パトリック・デウィット / 茂木健訳 **Ablutions**

登場人物全員泥酔！ 『シスターズ・ブラザーズ』の鬼オデウィットのデビュー作。

ロバート・クレイス / 高橋恭美子訳 **Suspect**

銃撃戦で負った怪我の後遺症と相棒を失った罪悪感を抱え復職した警官の、事件の真相究明に賭ける苦闘。

ガイ・パート / 山田蘭訳 **Dandelion Clock**

画家となったかつての少年は、故郷に帰った。かつて親友と美しい少女とともに過ごした思い出の日々。三人は、ある日廃墟の教会で「それ」と出会った……美しい情景と郷愁に満ちた文芸大作。

ピーター・ロビンソン / 幸田敦子訳 『毒殺』

ヨークシャーの古い屋敷に暮らし始めた音楽家が、60 年前その家で美しい女性グレースが夫である医師を毒殺し、縛り首になったことを知る。本当に彼女は夫を殺したのか？ アーサー・エリス賞受賞の傑作。

アレックス・グreshian / 谷泰子訳 **The Black Country**

『刑事たちの三日間』を超える、ノンストップ・ヴィクトリアン警察小説！

フレッド・ヴァルガス / 田中千春訳 **Sous les vents de Neptune**

CWA 賞を受賞した、アダムスベルク警視シリーズの最高傑作。30 年前に警視の弟が容疑者のひとりとなった、三つ叉の矛を凶器に使う殺人鬼による連続殺人事件。今、ふたたび同じ手口の事件が……。

アンナ・ヤンソン / 久山葉子訳 『消えた少年』(仮)

中世の面影を色濃く残すゴットランド島を舞台にしたミステリ。スウェーデンのクリスティ登場！

アーサー・コナン・ドイル / 深町真理子訳 『シャーロック・ホームズ最後の挨拶【新訳版】』

ジョン・ディクスン・カー / 三角和代訳 『テニスコートの殺人【新訳版】』

エラリー・クイーン / 中村有希訳 『ギリシャ棺の謎【新訳版】』

レスリー・メイヤー / 高田恵子訳 『父の日殺人事件』《主婦探偵ルーシー》(仮)

ローナ・バレット / 大友香奈子訳 『本の町の殺人3』(仮)

ジル・チャーチル / 新谷寿美香訳 **Bell, Book, Scandal** 《主婦探偵ジェーン》

...and more!